

2025年4月15日

一般社団法人日本ペインクリニック学会
会員 各位

一般社団法人日本ペインクリニック学会
健康保険検討委員会

ヘルニコア[®]実施状況に関する実態調査の結果について

このたび当会では「ヘルニコア[®]実施可能医師」の先生方を対象に、実施状況に関する実態調査を行いました。お忙しい中ご協力いただきました皆様には、心より御礼申し上げます。以下に、調査結果の概要を掲載いたします。

今後も適切な治療の提供体制の整備・支援を目的として、引き続き皆様にご協力をお願いすることがあるかと存じます。その際には、何卒よろしくお願い申し上げます。

【調査結果概要】

調査期間：～2024年11月30日（販売開始年の2018年からの実施症例を収集）

結果が得られた施設：6施設 426症例

・著効 40例 ・有効 137例 ・微効 128例 ・無効 95例 ・評価不能 26例

有効以上（著効＋有効）：42%

微効以上（著効＋有効＋微効）：72%

【有害事象の発生状況】

対象：400症例（効果判定不可26症例を除外）

有害事象報告件数：13症例（発生率：3.25%）

・アレルギー（蕁麻疹）7例・腰痛 3例・神経根痛 3例

緊急手術へ移行例 0症例

【効果の判定】

判定は、施行医が判断した時期とした

【効果の評価の目安】

著効 NRSなどで8～10の変化

有効 NRSなどで5～7の変化

微効 NRSなどで2～4の変化

無効 NRSなどで0～1の変化

【有害事象項目】

アレルギー、アナフィラキシー、腰髄神経根障害、痙攣発作、失神寸前の状態、迷走神経障害、過換気、椎間板突出、注射部位疼痛、注射部位不快感、血圧上昇、椎間板炎、注射部位感染、穿刺部位疼痛、敗血症、硬膜外膿瘍、背部痛、四肢痛、神経根痛、失神、血圧低下、筋骨格痛、頭痛、悪心、嘔吐、異常感および椎間板障害に該当する事象

※ 感染に関する事象以外は投与後1日以内に発現した有害事象

以上